

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

膵炎および膵腫大における膵実質の線維化、組織推定についての探索的観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 放射線診断科（研究責任者）衣袋 健司

<研究期間>

承認日 ～ 令和 6（西暦 2024）年 3月 31日

<研究の目的と意義>

急性膵炎や慢性膵炎、びまん性膵腫大に伴う膵実質の形態的変化は、膵疾患を診断する上で重要な所見の一つです。しかし、形態的変化が類似していても病態や経過が全く異なる症例がしばしば存在します。これらを画像を使って鑑別することは、膵疾患に対して迅速かつ正確に診断するために重要です。また、膵実質の形態的変化の他に、線維化や炎症、脂肪沈着の程度を評価することも治療戦略の上で有用な可能性があります。肝実質を測定する具体的な方法は、Dual energy CT という特殊な撮像方法を用いた CT 画像による線維化の推定や、Extracellular volume fraction (ECV) という肝臓を計測して算出した値による膵実質の線維化の推定などの方法があります。膵実質に形態的変化をきたす疾患の鑑別について、CT 検査や MRI 検査の有用性を探究し、膵実質の線維化や炎症、脂肪沈着の程度について、CT 検査や MRI 検査解析によって評価できるのかを検討します。

<利用する試料・情報の項目>

診療録より検査データ(血液検査、画像検査)、患者さんの年齢、性別、臨床所見、輸液量などの情報を使用させていただきます。

<対象となる方>

西暦 2019 年 2 月 1 日～西暦 2024 年 3 月 31 日の期間に当院で腹部の CT、MRI、核医学検査をされた方

<研究の方法>

本研究では、腹部 CT、MRI、核医学検査をされた患者さんのうち、急性膵炎、慢性膵炎、びまん性膵腫大と診断された方の画像情報を解析し、血液検査結果や病理検査結果と対応させて、膵実質の評価方法について検討します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

放射線診断科 氏名：衣袋 健司

電話：03-3972-8111 内線：(医局)2554 (PHS)7959